

地域活性

グループの持つ強みであるヒトや知的資産などのリソースを、事業だけでなく、地域社会の発展に最大限生かします。

そのために事業活動を通じて、地域と密着した関係を築き、雇用の創出や生活文化の成熟に貢献します。

さらに、地域に伝承されている匠の技や造形美を、革新的な価値を付加して世界へ発信します。



社会への提供価値と事業との関わり

ポーラ・オルビスグループは、地域の方と密着した事業活動を行っています。当グループの強みである女性のエンパワーメントなどを通じ、地域の人口流出や、経済活性などの地域の課題を解決していくことができると考えています。現地に赴くだけでなく、DXなども通じて、地域に必要とされるブランドとなることで、当グループの安定的な成長にもつながります。

認識している社会課題・メгатレンド

高齢社会（少子高齢化）
女性の貧困（シングルマザーの貧困）
地域格差（過疎化）

当グループの強み

ダイレクトマーケティング
女性の活躍
新常態に適応した
人と人とのつながりを構築

目標実績

- 地域起業オーナー数

2029年目標 **1,200** 人 2020年実績 **504** 人

- 地域経済への貢献施策数

2029年目標 **78** 件 2020年実績 **27** 件

女性企業家の育成

経済影響力のある人材



地域との協業

協業の幅の広がり





女性起業家の育成

地域起業オーナーの育成にあたって

ポーラ・オルビスグループは、女性に支えられてきた企業です。世界中の誰もがその人らしく生きられるよう取り組んでいます。

また女性のエンパワーメントを通じ、地域の活性をおこなっていきます。

ビューティーディレクターの育成体制

ポーラでは、委託販売契約をビューティーディレクターと結んでいます。ビューティーディレクターは個人事業主として起業しています。

またビジネス開始時の収入の不安定さを低減するための販売手数料制や、商品の買い取りではなく、商品が販売できたときに販売手数料を収入として得るなど、スタートアップの支援を行っています。また、美容の知識や技術を学ぶ「POLA University」を設立し、一人ひとりの成長度合いに合わせたサポートを行っています。また、ショップ経営のための「キャリア開発研修」や「リーダーシップ研修」、店舗マネジメント、人材育成ノウハウなどの研修を整備しています。

地域起業オーナーに関する目標・実績

地域起業オーナー数

2029年目標	2020年実績
1200人	504人

ポーラ ビューティーディレクターという働き方

ポーラでは、ポーラ ザ ビューティーをはじめとする全国約3,800カ所(2020年末現在)のショップで、ビューティーディレクター(以下BD)が店舗運営や販売活動を担っています。ポーラはBDの仕事を「女性が自分のありたい姿と生き方を実現できる仕事」と定義し、商材の販売に関わることのみならず人間力向上を含めた教育プログラムを実施しています。

BDの仕事は、お客さまと1対1での関係性を構築していくことからスタート。次にスタッフを育成しながらショップオーナーへ昇格し、その後は複数のショップを束ねる組織のリーダーへと成長していきます。その過程で社会と関わりを持ちながらポーラの価値を発信し、地域とともに発展することを目指します。地域に影響力を及ぼすことのできる目安「月商500万円規模」の組織長(オーナー)数をKPIとして設定しています。オーナーのほとんどが自らその地域で生活する女性であり、彼女たちが生活者の視点で商圏を見わたすことで人口減少などの地域のリアルな課題と向き合い、地域を元気にするために活動します。

コロナ禍による業績悪化のため、日本では正社員に比べて契約社員・派遣社員が職を失う社会課題が顕在化していますが、その多くは女性です。ポーラは女性の持つ可能性を信じ、発揮することができるよう起業家(個人事業主)として多様性のある働き方を提案しています。





地域との協業 協業の幅の拡がり

地域との協業にあたって

ポーラ・オルビスグループは、人と人とのつながりが、地域の活性に重要だと考えています。そのために、事業活動で関連のあるステークホルダーとの連携を通じて、今までその地域と接点のなかった人と地域の新たなつながりを提供していきます。

地域との協業に関する目標・実績

地域経済への貢献施策数

2029年目標	2020年実績
78件	27件

地域との協業に関する取り組み

ポーラ 地域の社会課題に取り組む

岐阜県多治見市で活動する山下真美子グランドオーナーは、地域の女性に活躍の場（＝ポーラの仕事）を提供するベーシックな仕事を行いながら、高齢化社会による介護問題・核家族化・女性の1人親増加などの社会課題を捉え、美容サービスが行き届かない地域にサロンカーで出向いて美容の楽しさをお届けする活動を始めました。ショッピングに足を運ぶことが難しいお客さまにもエステを受けていただくことができます。このような活動を全国を通し行い地域でのプレゼンスが向上することで、事業成長につながります。



「美の体験」をお届けする「移動式エステサロンカー」

オルビス 甲州市オルビスの森

2011年1月、オルビスは、甲州市や公益財団法人オイスカと甲州市里山創造推進協議会を設立し、「森林整備協定」を締結。山梨県甲州市の市有林約100haを「甲州市・オルビスの森」と名付け、10年計画で、オルビスの社員らが荒廃した森林の整備を行い、里山として再生するプロジェクトが2012年4月にスタートしました。このプロジェクトは、森づくりだけではなく、広大な土地全体を、人々が集い自然と親しむ里山として再生することが最終目的です。2018年12月には、オルビスの環境保全活動に対し日本政府から紺綬褒章（褒状）を授与。また、2019年には「甲州市・オルビスの森」を含む一帯が「甲武信ユネスコパーク」に認定されました。さらに2020年には地域環境の美化に大きく貢献したとして、環境省より「地域環境美化功績者表彰」を受賞しました。



社内ベンチャー発 島根県美肌ウェルネスツーリズム

2019年にスポンサー賞を受賞した内閣府主催「宇宙ビジネスアイデアコンテスト」から派生した事業化検討「美肌ウェルネスツーリズム」では、美意識のある旅行に関心の高い女性をメインターゲットとして、ポーラ・オルビスグループの保有する肌や体調に関する知見、衛星データとのマッチング解析結果を活用し、パーソナライズで学習価値の高い、美容、温泉、食、睡眠、感受性コンテンツ(文化・芸術等)を提供していきます。

その地域ならではの観光資源や専門家との出会いを、美肌ウェルネスのコンセプトで裏打ちし、心身ともに美しく元気になれる、また、帰宅後もライフスタイルの変革につながられるツーリズムを提案します。

同時に観光資源の活用を通じて地域創生の支援を目指します。地域の事業者と対話を重ね、新たなコンテンツ開発を行っていきます。現在、第一弾となるツーリズム対象候補地を島根県に設定し、島根県観光振興課・島根県観光連盟と連携しながら事業化に向けた検討を進めています。2020年は、実際に島根県で「美肌ウェルネスツーリズム」のテストツアーを実施し、そのコンセプトと実体験に好評を得ました。帰宅後も継続的なコンテンツ提供を要望する声も多く、ツーリズムの事業化が、自宅近隣の店舗での商品購入・カウンセリング、ECによる地元美肌食材のリピート購入といった誘客につながる事が期待されます。

今後事業化を実現し、対象地域の拡大も計画していきます。



島根県の同一食材から生まれた和と洋の饗宴体験(上:和食 下:洋食)

THREE 使用されなかった素材から価値を創出

THREEは創業時より国産原料を積極的に取り入れています。今まで活用されていなかった素材に新たな価値を生み出すために、社員が原料の畑に行き収穫の手伝いもし、生産者との関係を築いてきました。

今回オーガニック認証を取得するにあたり、原料の畑を新たに認証取得することから始めました。遺伝子組み換え原料は使用しないなど、様々な規定を準拠し、認証を取得することができました。原料となる植物の畑までもが基準に適合しているため、今後はより多くの方に、畑の素晴らしさも発信していくことができます。

